

『 スポーツにおける救急処置 ～新しくなった心肺蘇生法～ 』
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター ER
林 峰栄

【抄録】

日本の救急蘇生法が新しくなったことをご存知でしょうか？

全世界の心肺蘇生に関わるすべての研究報告を収集・分析していた国際蘇生連絡委員会（ILCOR：International Liaison Committee on Resuscitation）から、2005年11月28日に、「2005心肺蘇生と救急心血管治療における科学と治療勧告についての国際コンセンサス」、いわゆる「コンセンサス2005」が出ました。これをもとに、アメリカはAHA（American Heart Association）が、ヨーロッパはERC（European Resuscitation Council）が、それぞれガイドラインを作成しましたが、日本でも日本救急医療財団により、AHAやERCのガイドラインを参考にして日本独自の心肺蘇生ガイドラインが作成されました。

当日は、日本版心肺蘇生ガイドライン2005の変更点とその背景についてお話したあとで、実際に蘇生訓練用の人形を使っての実習を行いたいと思います。

【プロフィール】

平成5年 岡山大学医学部を卒業。沖縄県立中部病院にて研修を受ける。
その後、麻酔科、外科を経て、平成13年より岡山大学医学部救急医学講座の立ち上げに参加。平成18年4月より沖縄県立南部医療センター・子ども医療センターERの立ち上げに参加、現在に至る。

ただの風邪から重症多発外傷まで、なんでも診るER型救急医。
心肺蘇生法に関しては、全国各地で講習会やセミナーを開催している。
日本救急医学会 心肺蘇生コース企画運営委員会委員。

主に日常的に蘇生を行う者のためのBLS
(成人)

